

令和8年度 福東小学校 研究構想

学校の教育目標

豊かな心 たくましい力のある子

～やりぬく子 仲よくする子 考える子～

研究主題

自己を見つめ、自らよりよい生き方を目指して実践しようとする児童の育成

目指す児童の姿

- 自分の夢に向かって、強い意志をもち、粘り強くやりぬく子
- 分け隔てなくみんなを思いやり、心を通わせ合いながら共に歩む子

研究仮説

全教育活動を通した道徳教育推進の工夫、および道徳科において、自己の生き方についての考えを深めるための授業展開を工夫し、道徳性を育む活動の充実を図ることで、自己を見つめ、よりよい生き方を目指して実践する児童が育つ。

【研究内容1】

道徳科を要とし、全教育活動を通して道徳教育を推進するための工夫

- (1) 道徳教育の推進体制づくり
- (2) 学校行事や教科、特別活動等と道徳科を関連付けた年間指導計画や別葉の見直しと修正
- (3) 道徳的価値を意識した教育活動の充実

【研究内容2】

自己を見つめ、自分の生き方について考えを深める授業展開

- (1) 主体的に価値を追求していくための導入の工夫
- (2) 自分との関わりの中で、考え方や感じ方を深めたり、広めたりする発問の工夫と板書
- (3) 主体的に自己を見つめる工夫

【研究内容3】

道徳性を育む活動の充実

- (1) 自分と仲間のよさの自覚につながる工夫
- (2) 自己を見つめ、よりよい生き方を目指すための体験活動の推進

各教科 特別活動 総合的な学習

思いを表出しやすい学級の雰囲気づくり

教師と子どもの人間関係づくり